取組実績一覧

■ワークショップ
・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成28年度）
「いわて男女共同参画フェスティバル2016　第4分科会」
・宮城県亘理町（平成27年度）
「平成27年度『女と男共に学ぶ町民のつどい』委員会」
・福島県男女共生センター（平成27年度）
「平成27年度未来館エンパワーメント塾　災害リスクを減らし、回復力を高めるための実践支援　セミナー」

■シンポジウム/パネルディスカッション
・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成29年度）
「いわて男女共同参画フェスティバル2017　第4分科会」
・復興庁（熊本）（平成28年度）
「熊本地震からの復興を考える～これからのコミュニティ再生を中心に～（東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や災害時の教訓を男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点から）」
・岩手県（平成28年度）
「平成28年度男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業」
・復興庁（仙台）（平成27年度）
「よりよい復興のために～事例に学ぶ男女共同参画と復興～」
・独立行政法人国立女性教育会館（NWEC）（平成27年度）
「男女共同参画推進フォーラム　リレートーク『東北はいま～男女共同参画の視点からの復興～』」
・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成27年度）
「いわて男女共同参画フェスティバル2015　分科会4」

■セミナー・講演
・福島県、福島県男女共生センター（平成29年度）
「平成29年度福島県市町村男女共同参画新任担当者研修」
・宮城県（平成29年度）
「平成29年度市町村男女共同参画行政主管課長会議」
・JICA東北（平成28年度）
「課題別研修『ジェンダーと多様性からの災害リスク削減』コース」
・福島県、福島県男女共生センター（平成28年度）
「平成28年度福島県市町村男女共同参画新任担当者研修」
・宮城県名取市（平成27年度）
「『男女共同参画の視点からの復興のまちづくりと防災について』講演会」

■ポスター・パネル展示
・復興庁（平成28年度）
「熊本地震からの復興を考える～これからのコミュニティ再生を中心に～」
・内閣府（平成28年度）
「第1回防災推進国民大会大規模災害への備え～過去に学び未来を拓く～」
・岩手県男女共同参画センター・岩手県（平成28年度）
「いわて男女共同参画フェスティバル2016」
・国立女性教育会館（NWEC）（平成27年度）
「男女共同参画推進フォーラム」

復興庁男女共同参画班の平成29年度の方針

1．被災地自治体・関係団体等との連携・協力
　これまで同様、被災３県を中心に自治体担当者や被災各県の男女共同参画センター等との情報、意見交換を行い、被災地のニーズを把握するとともに、連携・協力体制を確立できるよう努める。

2．まちづくりやコミュニティ形成という分野における男女共同参画の視点の浸透
　震災から６年経過し、今後も重要なテーマとなる「まちづくり」や「コミュニティ形成」という分野において、男女共同参画の視点を浸透すべく、
・男女共同参画関係のイベントにおいて、まちづくりやコミュニティ形成をテーマに企画
・まちづくりやコミュニティ形成のイベントにおいては、男女共同参画の視点を取り入れてもらう取組
など、シンポジウムの開催、研修会の講師、講師の紹介（3県の状況を把握しているという強みを生かしながら、例えば、岩手には、宮城・福島の講師や事例を紹介）を通じて被災自治体・関係団体等をサポートする。

3．活動事例の情報収集と事例集への掲載
　平成28年度に引き続き、これまで取り上げた被災３県における事例集掲載団体のフォローアップを行うとともに、新規事例の収集・掲載等、最新の情報を発信することにより、現在活動している方や今後活動をされる方の活動に寄与する。

復興庁男女共同参画班にご相談ください

　復興庁男女共同参画班は、復興にも男女共同参画の視点を持つことの必要性を理解してもらう取組を進めるため、必要な相談を承っております。
　ご相談を受け、具体的には、ワークショップ、シンポジウム/パネルディスカッション、セミナー・講演、ポスター・パネル展示、イベントにおける登壇者の紹介などを行っております。

　お気軽にご相談ください。

【連絡先】
電話：03-6328-0274　/　FAX：03-6328-0299
メールアドレス：fukkocho.danjohan@cas.go.jp
〒100-0013　東京都千代田区霞が関3-1-1　中央合同庁舎4号館10階
Webサイト：http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-16/

まずは
お電話か
メールで
ご連絡を

復興庁男女共同参画班　検索

復興庁
Reconstruction Agency

資料5－1

www.reconstruction.go.jp/

参考事例集

ワークショップ・シンポジウム

コーディネート

復興庁
男女共同参画班の取組

平成29年度版

復興庁男女共同参画班にご相談ください
電話：03-6328-0274
メールアドレス：fukkocho.danjohan@cas.go.jp

男女共同参画班の位置付け

東日本大震災復興基本法及び**「復興・創生期間」における東日本大震災からの復興の基本方針**等に男女共同参画に関する記述あり。

基本法では「**女性、子ども、障害者等を含めた多様な国民の意見が反映されるべきこと**」と規定。

基本方針では「**復興のあらゆる場、組織への女性の参画拡大を通じて、復興過程における男女共同参画を一層推進する**」と記載。

これらに基づき、復興庁男女共同参画班が設置・活動

男女共同参画班の主な取組と今後の方向性

事例集の作成・公表

○主に女性が中心となって行われている取組や取組を行っている女性を支援する取組等を取材。
○取材の結果を取りまとめ、事例集として公表。

＋

復興活動への男女共同参画の視点の浸透

○復興にも男女共同参画の視点を持つことの必要性を理解してもらう（＝浸透させる）ための活動。
○パネルディスカッション・シンポジウムの開催、ワークショップの開催、研修会の講師、イベントにおける登壇者の紹介など被災地の自治体等のニーズに応じて実施。

第４次男女共同参画基本計画等も念頭に置きつつ、被災地自治体等のニーズを踏まえながら実施

ワークショップ、シンポジウム、セミナーなどの開催や、お手伝いをしています。

Case Studies 事例集

男女共同参画の視点からの復興～参考事例集～

○自治体や各地で活躍する方々の参考となるよう、まちづくり、仕事づくり、 健康づくりなどの分野に関し、女性が活躍している事例や被災地の女性を支援している事例等を収集・公表。

まちづくり	行政と協働し、まちづくり計画の策定・提言、これからどのようなまちに復興していくか検討する取組
仕事づくり	就業支援、起業支援、産業の創出や地域経済の活性化に関する取組
健康づくり	心身の健康維持・増進のための取組
居場所づくり	孤立を防止するための場づくりや、ネットワークづくり、地域の人が集まるスペースづくりなど、様々な人と交流や情報交換を行うための場を提供するための取組
人材育成	地域住民やNPO・自治体職員など、復興を担う人材を育成するための取組
情報発信	復興に向けた被災地の現状を伝える取組や、東日本大震災の記録を残すための取組

○現在**103**事例をHP上にて公表（平成29年10月末時点）。
○第11版（平成29年１月）より、様式を変更。
○平成28年度～29年度はフォローアップに注力。平成27年度は８件だったところを、平成28年度は14件追加で掲載。平成29年度は10月末時点で13件追加で掲載。

Symposium シンポジウム

熊本での東日本大震災での男女共同参画の知見を伝えるシンポジウム

「熊本地震からの復興を考える
－これからのコミュニティ再生を中心に－
（東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点から）」の実施（平成29年1月21日）

○復興庁・内閣府（防災担当が主催、男女共同参画局が共催）が協力し、熊本にてシンポジウムを実施。
○避難所が閉鎖され、被災者の多くが仮設住宅（借上型仮設住宅を含む。）に移行されて数ヶ月、新たな住居で課題となると予想される「コミュニティの再生」を中心テーマとして実施。熊本地震、東日本大震災及び過去の災害からの取組・経験・知恵を共有し、男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点を取り入れた、今後の熊本の復興の在り方や災害への備えについて考え、更には、熊本の経験を共有し、東北の復興にもつなげていくことを目的に開催。

当日のプログラム

・奥山恵美子仙台市長による基調講演
・防災・復興に携わり、経験・知見を持つ有識者の方々による事例発表やパネルディスカッション
　コーディネータ
　　新潟大学危機管理室　**田村圭子**教授
　パネラー
　　くまもと県民交流館「パレア」　**中園三千代**館長
　　熊本市男女共同参画センター「はあもにい」　**藤井宥貴子**館長
　　（公財）せんだい男女共同参画財団　**木須八重子**理事長
　　福島大学うつくしまふくしま未来支援センター　**天野和彦**特任准教授
　　NPO法人インクルいわて　**山屋理恵**理事長
　　認定NPO法人CS神戸　**中村順子**理事長
・災害に関する取組を行っている団体の展示ブースと三部構成で実施。

Work shop ワークショップ

岩手県男女共同参画サポーター養成講座

「復興における地域コミュニティの再生を事例から学ぶ
ー男女共同参画の視点からの復興ー」（平成29年9月25日）

コーディネーター
認定NPO法人JEN　**髙橋　聖子**氏

事例発表① 岩手県釜石市に関する発表
釜石市　釜石地区生活応援センター
　所長　兼　釜石公民館長　**栃内　宏文**氏
釜石市社会福祉協議会
　地域福祉課生活ご安心センター　課長
　兼　副センター長　**菊池　亮**氏

事例発表② 宮城県石巻市北上町に関する発表
一般社団法人　ウィーアーワン北上
　代表理事　**佐藤　尚美**氏
公立大学法人岩手県立大学　社会福祉学部
　准教授　**庄司　知恵子**氏

○岩手県が行っている男女共同参画サポーター養成講座のうち、平成29年9月25日（月）12時半～14時半の**１講座を復興庁男女共同参画班が担当。**
○釜石市・石巻市北上町の地域づくり活動について、４名の登壇者からお話いただき、それぞれの活動において、男女共同参画を含めた多様な視点がどのように盛り込まれているかについて考え、参加者にとって、自分の地域でのまちづくりに「男女共同参画を含めた多様な視点」を反映していくためのきっかけづくりとなることを目的に開催。
○コーディネーターの認定NPO法人JEN髙橋　聖子氏の進行のもと、４名から事例発表頂き、その後、それぞれの地域づくりの事例について、男女共同参画の視点からはどのような気付きがあったかを、髙橋氏が解説した。また、事例発表者に登壇いただきパネルディスカッションを行った。
○事例発表とパネルディスカッションの後それぞれに、参加者同士で自分の考えを共有する時間を作るなど、より参加者の学びが深まるような取組を行った。

Coordinate コーディネート

南相馬市　男女共生こども課主催
「佐伯チズ講演会～人生を磨く『きれいのルール』～」
（平成29年10月12日）への協力について

○美容家・生活アドバイザーの佐伯チズ氏は、東日本大震災からの復興に関しては、被災者を元気付け、エンパワーメントするため、老若男女を問わず、みんなが「きれい」になるために、どんなことが大事かを講演して被災地を回っている。
○佐伯チズ氏の事務所から当班に、被災地支援をしたい旨、一昨年にご連絡があったことをきっかけに、一昨年、昨年と、石巻市における佐伯チズ氏の講演会の開催に協力。
○当班が市町村訪問する中、南相馬市男女共生こども課から、南相馬市の女性を元気にできないかとの相談を受け、また、佐伯チズ氏からは、引き続き少しでも復興の役に立ちたいとの意向を伺っていたことから、**当班がコーディネートし、南相馬市における講演会の実施につながった。**
○実際に参加された方からは、「久しぶりに震災を忘れて楽しむことができた」などと好評であった。